

ありせ  
**有瀬1号墳**

尾崎喜左雄博士によって1956年(昭和31年)1~2月、渋川市で発掘調査された。墳丘径7.4mの円墳である。

榛名山が6世紀前半に噴火した際の降下軽石に存在していたため、存在認識はされていなかった。



↑有瀬1号墳での円筒埴輪列の出土状況

つみいしづか  
**積石塚**



↑坂下町6号墳の全景

尾崎喜左雄博士によって1962年(昭和37年)3月、渋川市坂下町古墳でその存在が確認された。

東国における古墳時代渡来文化に関する研究対象として重要視されている。